

平成24年 2月13日
 社団法人 日本建設業連合会

「(社) 日本建設業連合会 建築設計部門年次アンケート 2011」より

はじめに

旧(社) 建築業協会(BCS)では、1992年度より、会員各社の建築設計部門の実情を把握し、建築業界としての提言や方策を講ずる基礎資料として、会員各社を対象に「建築設計部門に関する年次アンケート」を毎年実施してきました。(社) 日本建設業連合会においてもこの活動を継承し、2011年度もアンケートを実施しました。

この調査結果のうち、設計施工率および資格者の数について公表します。

調査概要

調査対象：(社) 日本建設業連合会 建築本部委員会参加会社 56社

調査時期：2011年7月1日現在（ただし設計施工率は2010年度の受注額から計算）

調査結果

(1) 設計施工率（有効回答 46社）

	設計施工一貫受注額	設計施工率
単独設計	2,006,473 百万円	31.1%
共同設計	345,196 百万円	5.4%
単独設計+共同設計	2,351,669 百万円	36.5%

- 注）・設計施工率＝設計施工一貫受注額/建築工事受注額
 ・建築工事受注額…6,445,597 百万円
 ・共同設計は他社と共同で設計したもの。設計業務範囲に関わらず受注工事金額を設計施工一貫受注額としている。
 ・JV工事の場合は、JV工事の持分を算入

(2) 設計関連有資格者（有効回答 56社、ただし建築設備士の有効回答は 55社）

	保有者数	保有率
一級建築士	4,959 人	63.1%
構造設計一級建築士	991 人	12.6%
設備設計一級建築士	378 人	4.8%
建築設備士	794 人	10.2%

- 注）・保有率＝保有者数/建築設計部門所属人数
 ・建築設計部門所属人数…7,854 人（建築設備士の調査対象は 7,770 人）